2026年11月4日

各　　位

上場会社名　積　水　樹　脂　株　式　会　社
代表者名　代表取締役社長　兼　ＣＥＯ　馬場　浩志
（コード番号　4212　東証 プライム）
問合せ先　取締役 兼 常務執行役員 財務・ＩＲ担当　菊池 友幸
（TEL 06-6365-3288）

持分法適用関連会社における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けへの応募のお知らせ

当社は、2026年10月29日開催の取締役会において、当社の持分法適用関連会社である日本興業株式会社(以下「日本興業」といいます。)が、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式取得(以下「本買付け」といいます。)を実施する場合には、当社が保有する日本興業株式の一部を応募する方針を決議し、具体的な応募については代表取締役社長に一任いたしました。

本日、日本興業が本買付けの実施を公表したことを受け、その買付け条件等を確認した結果、当該取締役会決議に基づき、当社保有の日本興業株式380,000株を本買付けに応募することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社が応募した株式の全てについて売却が成立した場合、日本興業は当社の持分法適用関連会社に該当しないこととなる見込みです。

記

１．本買付けへの応募の理由

当社は、「資本コストや株価を意識した経営」の実現に向け、政策保有株式を含む保有資産について、保有目的、保有に伴う便益およびリスク、資本コスト等を踏まえた検証を行い、資本効率の向上および成長投資への資金配分を進めております。

当社と日本興業は、長年にわたり資本関係および事業上の協力関係を構築してまいりました。今般、両社の企業価値向上の観点から、資本関係と事業関係の今後の在り方について協議・検討した結果、両社の経営の自主性・独立性をより明確にするとともに、当社の資産構成の最適化および経営資源の効率的な配分を図るため、本買付けに応募し、当社が保有する日本興業株式690,000株のうち380,000株を売却することといたしました。

これにより、両社の資本関係は縮小する見込みですが、事業上の協力関係については、引き続き良きパートナーとして両社が連携していくことで合意しており、それぞれ独立した経営判断のもと、個別の経済合理性を確認したうえで、協力関係を継続してまいります。

２．本買付けの内容

日本興業が実施する本買付けの内容につきましては、日本興業が本日公表した「自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ」をご参照ください。

３．今後の見通し

当社が応募した株式の全てについて売付けが成立した場合、2027年3月期の連結決算において関係会社株式売却損を計上する見込みですが、2027年3月期の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、重要な影響を及ぼす見込みが生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上